

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	PolySupport™
会社名	JF Polymers (Suzhou) Co., Ltd.
住所	Building 6&7&11, No.2, Hai Cheng Road, Chang Shu Economic & Technological Development Zone, 215513, People's Republic of China
メールアドレス	zhenxing.miao@polymaker.com
電話番号	+86-512-52058005
FAX番号	-
緊急連絡先電話番号	+86-512-52058005
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	3D Printing Filament.

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	急性毒性 (吸入)	区分4
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	特定標的臓器毒性, 単回ばく露	区分3 気道刺激性
	特定標的臓器毒性, 反復ばく露	区分2
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。	

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。強い眼刺激。吸入すると有害。吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。呼吸器への刺激のおそれ。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。粉じんの吸入を避けること。取扱い後はよく洗うこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。保護眼鏡/保護面を着用すること。保護手袋を着用すること。呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。気分が悪いときは医師に連絡すること。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

混合物の100%は急性経口毒性未知の成分である。混合物の100%は急性経皮毒性未知の成分である。混合物の100%は水生環境に対する急性危険有害性未知の成分である。混合物の100%は水生環境に対する長期にわたる危険有害性未知の成分である。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。呼吸器への刺激のおそれ。呼吸の困難。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

非常事態の概要

吸入すると有害。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。強い眼刺激。皮膚刺激。呼吸器系に刺激を起こすことがある。吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

官報公示整理番号

成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
ポリウレタン	27083-55-2			>50%
報告量を下回るその他の成分				<50

化学式

(C15H10N2O2.C6H10O4.C4H10O2.C2H6O2)x (27083-55-2)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて酸素または人工呼吸。被災者が本物質を吸引した場合は口うつし人工呼吸を行ってはならない。一方弁を備えたポケットマスクまたはその他の適切な呼吸医療機器を用いて人工呼吸を誘発する。呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

目に入った場合

目を擦ってはならない。直ちに多量の流水で最低15分間目を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。呼吸器への刺激のおそれ。呼吸の困難。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

応急措置をする者の保護

気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者を保温する。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

水の噴霧。耐アルコール泡。乾燥粉末。二酸化炭素 (CO2)。

使ってはならない消火剤

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法

未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

消火を行う者の保護

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

特定の消火方法

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。粉塵の吸入を避ける。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。

環境に対する注意事項	下水や水路、地面に排出しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<p>空気中への粉塵の散布を避ける。(例、圧搾空気粉塵の表面をクリアする等) リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。</p> <p>大量流出：水で湿らせ、後で廃棄するために堰を設ける。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。廃棄物容器に物質をシャベルですくい入れてください。製品回収後、その付近を水で洗い流す。</p> <p>少量の漏出：こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。吸収材(例：布、フリース)で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。</p> <p>絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。</p>

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)	屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
安全取扱い注意事項	塵の生成や蓄積を最小限にする。粉じんの吸入を避けること。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。
接触回避	詳細については、本SDSの項目10を参照。
適切な衛生対策	本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

安全な保管条件	施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。混触禁止物質から離して保管すること(本SDSの項目10を参照)。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)および管理濃度	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
設備対策	適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空気中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空気中の濃度を適切な濃度以下に抑える。通常は全体換気で十分である。洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸器の保護具	正圧加圧式自給式呼吸用保護具(SCBA)を着用しなければならない。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。
目の保護具	サイドシールドのついた安全眼鏡(またはゴーグル)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。不浸透性エプロンの使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態	固体。
形状	固体。
色	Milky white.

臭い データなし。

pH データなし。

融点・凝固点 190 °C (374 °F)

沸点、初留点と沸騰範囲 データなし。

引火点 データなし。

燃焼性(固体、ガス) データなし。

燃焼又は爆発範囲

燃焼範囲 - 下限(%) データなし。

燃焼又は爆発範囲 - 上限	データなし。
爆発下限界 (%)	データなし。
爆発上限界 (%)	データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度	データなし。
比重	データなし。
溶解度	
水溶性	水に不溶
n-オクタノール / 水分係数	データなし。
自然発火温度 (発火点)	データなし。
分解温度	データなし。
粘度 (粘性率)	データなし。
その他の情報	
爆発性状	データなし。
酸化能力	データなし。
比重	1.2

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。 Strong alkalis. 強酸。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物. 窒素酸化物 (Nox)。

11. 有害性情報

急性毒性	吸入すると有害。
皮膚腐食性/皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	皮膚刺激。 強い眼刺激。
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ。
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
生殖細胞変異原性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
発がん性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
生殖毒性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	呼吸器への刺激のおそれ。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
誤えん有害性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。
残留性/分解性	混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。

13. 廃棄上の注意

適用される全ての法規に準拠して廃棄しなければならない。

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない(「廃棄上の注意」参照)。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送 該当しない。

国内規制 国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則

該当せず。

航空法・施行規則

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月
JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
JIS Z 7252 : 2019/ JIS Z7253-2019 GHSに基づく危険有害情報の伝達方法

JF Polymers (Suzhou) Co., Ltd. は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。